

からだに優しい授乳用ブラジャーの商品開発

藤田 薫子*¹⁾ 光畑 由佳*²⁾ 筋野 真知子*²⁾

Product development of a nursing brassiere with consideration of the body

Kaoruko Fujita*¹⁾, Yuka Mitsuhashi*²⁾, Machiko Sujino*²⁾

キーワード：授乳期，ブラジャー

Keywords：Nursing, Brassiere

1. はじめに

女性を取り巻く社会環境が変化している。特に少子化に向けて、企業や行政も具体的な支援体制を整えつつある。しかし、メンタルと連動する衣生活整備では、まだ遅れがみられる。妊娠出産、子育て、と女性としての過渡期を送るにあたり、生理的、心理的变化から、からだへの負担も多くみられる。外出での授乳をためらい、精神的ストレスによる「ひきこもり」など、日常生活のデメリットも報告されている。そこで、授乳期にも負担なく外出できること、からだのマイナートラブルに配慮することなどに留意し、快適で機能的な授乳用ブラジャーの研究開発を行い商品化した。ユーザーの嗜好を確実に反映し、日常生活の快適化を実現した。

2. 内容及び結果

2.1 ターゲットモニターへのアンケート調査 モーハウス有限会社の全国ユーザーに向けて授乳用ブラジャーに対する意向、嗜好を調査するため、表1のアンケート調査を実施した。

表1. アンケート調査

| | |
|------|---|
| 調査方法 | インターネット・アンケート調査 (機能, デザイン, 色, 等 10 項目) |
| 調査対象 | ①現在、授乳中の母親 ②モーハウス既存製品（授乳用ブラジャー）の購入経験のある方 |
| 調査人数 | 70名 |

調査結果

- ①着脱、授乳時の動きやすさと安定したサポート感を両立させるための調節機能への要望。(62.8%)
- ②清涼感、即乾性、優しい肌触り、素材機能への要望(40%)
素材選定は多汗や敏感肌等、トラブルに対する配慮が必要。
- ③漏乳用パッドの落下を防ぐ、アンダーベルトの幅を広く肩への負担を軽減するなど構造への要望。(54.3%)
身体ケアや利便性を意識したパターン設計が必要。
- ④肌を綺麗に見せるサーモンピンク、ブルーの嗜好色(図1)への支持。(68.6%)



図1. インターネット・アンケート調査（嗜好色の例）

2.2 ターゲットモニター・インタビュー デザイン機能を具体的に抽出するため、授乳負担を軽減する工夫、マイナートラブル、アフターケアなどインタビュー(表2, 図2)による実態調査を行った。

表2. インタビュー調査

| | |
|------|--|
| 調査方法 | 対面聞き取り調査 |
| 時期 | 春夏(7月) 秋冬(10月) |
| 調査対象 | モーハウスヘビーユーザー(購入歴5年以上) |
| 調査人数 | 6名 |
| 調査内容 | ①授乳用ブラジャーのマイナートラブル ②製品の素材、縫製上の問題点、要望 ③既製品のデザイン改良点 ④日常の授乳動作について ⑤アフターケアについて |



図2. ユーザー・インタビュー

*1) 墨田支所 *2) モーハウス有限会社

調査結果

アンケートとインタビュー調査によるデザイン企画のポイントは下記の結果となった。

- ①クロスタイプのデザインが支持された。(80%)
- ②ストラップを下す際、2~3 cmの伸縮性が不可欠(64.4%)
- ③上衣とブラジャー開口が連動する設計が有効。(56.9%)
- ④肌ストレスの少ない素材、縫製仕様を支持。(84.2%)
- ⑤バスの張り、重さがかかるため、肩の負担を軽減する工夫が必要。(71%)

2.3 製品のデザイン機能 上記結果から、便利機能、快適性に配慮し、図3のデザイン特徴を考慮しパターン設計した。

- (1) カップは身頃と連動伸縮性不織布を内蔵する。
- (2) アンダーベルトは食い込みを軽減するため、内蔵ゴム型にせず、素材の伸縮性を生かして、4 cm幅ベルト仕様とした。
- (3) 肩部分は2層構造で、間に伸縮性不織布を挟むことで、強度確保と、力の分散をはかった。(A)
- (4) 肩、脇、前クロス部分は、皮膚トラブルを軽減させるため、縫い目を表に出す縫製仕様とした。(D)

2.4 素材の選定とパターン設計 アンケート結果から、軽量で通気性、伸長回復性の高い、メープルベア天竺(Cupra45%, Nylon44%, Polyurethan11%)を選定した。

モーハウス・ブラジャーの既存サイズ「M スリム：アンダー68 cm, トップ79~87 cm」をマスターサイズとして試作を行った。パターンの特徴は、素材の伸長性を考え、ネックポイントから14 cm下にクロス位置を設けた。(B) 便利機能である乳漏れパッド内蔵用ポケットは、カップ布と連動し、既製パッドも収納できるよう広く開口を設けた。(C)

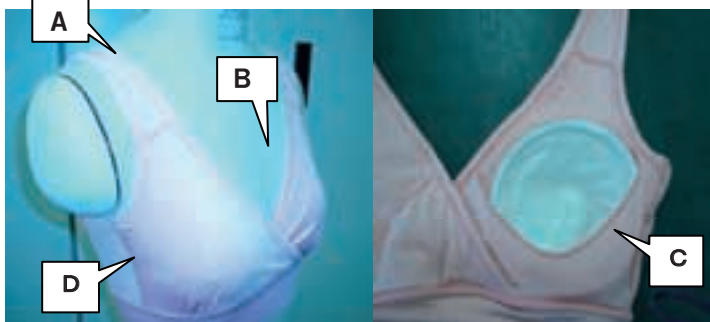


図3. デザイン特徴 (A~D)

2.5 モニターによる試着試験 図3のデザイン特徴を生かした試作品を作製し、モニター、6名の試着試験とアンケート(30名)を行った。



図4. 試着試験

試着試験結果

着脱、動き易さ、ゆとり、バランス、デザイン、生地風合い等、8項目について、評価を行った結果は以下のとおりである。

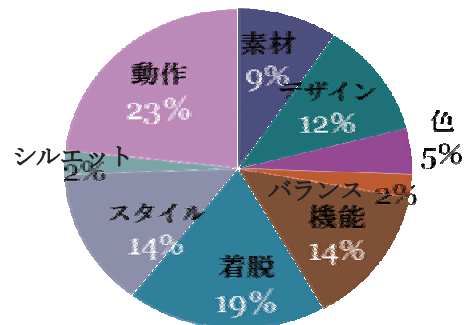


図5. 試着試験の評価

- ①動作：ストラップは、肩から外しやすく授乳が容易である。
- ②着脱：脱ぎやすい。下から穿くように身につけると良い。
- ③スタイル：授乳中、また卒乳ブラジャーとしても有効。
- ④機能：バスの張り、重さ、肩の負担など配慮されている。
- ⑤デザイン：開口が大きく脇腺も平なため、すっきり見える。

3. まとめ

試着試験の結果から、からだに優しい授乳用ブラジャーの商品開発ポイントは、以下のとおりである。

- ①意向、嗜好調査(アンケート、インタビュー)により、授乳に不可欠な機能を明確にすること。
- ②マイナートラブルに対応するため、縫い目を外側に出す縫製など仕様の工夫が重要。
- ③授乳動作に有効な機能性副資材の適用が有効。
- ④身頃と連動する収納ポケットのパターン設計が重要。



図6. 授乳用ブラジャー「モーブラしゃんと」

平成22年2月より、商品「モーブラしゃんと」が発売開始され、6月現在640枚売り上げ、好評を得ている。(図6)

今後も引き続き、共同研究事業に取り組み、アパレル企業の技術支援を行ってきたい。

(平成22年6月30日受付、平成22年9月13日再受付)